



石橋建設工業の
ヒトモノ
トノ
づく
くり

石橋建設工業株式会社

2025.01.

 **Ishibashi**

人に優しい 街づくり



石橋建設工業株式会社は、創業以来100年の歴史のなかで、一貫して人々の暮らしを支える街づくりに取り組んできました。

街——そこには、安心して眠れる家があり、人やものが行き交う道があり、衣食住や娯楽に必要な商品・サービスを提供している店舗やオフィス、公共施設があり、万一のときに頼れる病院があり、子どもたちを育む学校があり、風水害などから街を守るための設備や機能もあります。石橋建設工業は、多彩な建物を建築することや、河川や道路の整備を通じて、直接的に街づくりに貢献しています。

人——そこに住む人々は世代交代を繰り返し、時代に応じてその姿や形を変化させていきます。けれども、けっして変わることがないのは、人々が快適に落ち着いて暮らせる生活空間を提供することの価値です。石橋建設工業は堅固な土木施設や機能的な建築物を通して、間接的に人に優しい街づくりに貢献しています。



今、建設業界には、新しい風が吹き寄せています。サステナブル（持続可能）な社会を構築するため、環境負荷をできるだけ抑えた街づくりへの挑戦です。従来とは異なる考え方への転換が必要で、サステナブル社会に適応できる建設人材の育成も求められています。石橋建設工業は、建設業界で活躍する人づくりを通して、人にも環境にも優しいサステナブル社会に貢献しています。

石橋建設工業株式会社





100年の伝統を 次の世代へ

Contents

目次

- 人に優しい街づくり 01.
- 石橋建設工業の「想」 05.
- 石橋建設工業が描くミライ 07.
- 事業内容 - 建築 11.
- 事業内容 - 土木 29.
- 採用情報 39.
- データで見る石橋建設工業！ 47.
- 会社概要 49.

石橋建設工業の

「想」 ～Identity～

大切な「哲学」 経営理念

～Philosophy～

「地域のエクセレントカンパニーとして、社会に貢献する」ことを最大の経営理念に掲げています。群馬県東毛地区で生まれ、育ててもらった企業として、「誠実な対応で顧客満足を実現する」を通して、「任せて良かった、勤めて良かった、なくてはならない会社であり続ける」ことをめざしています。

「今」を動かす 経営方針

～Policy～

高い企業倫理とコンプライアンス（法令遵守）に基づく経営は当然です。量から質への意識転換を図りながら、コスト競争力を向上させ、赤字工事の受注を極力回避します。すべての経営資源を本業に集中させることで、堅実な経営を守り続けます。常に社員の待遇改善を図り、能力向上に努めます。

「未来」を見つめる 経営目標

～Goals～

地域の建設会社として地元のニーズに即した街づくりに貢献しながら、これまでに培った技術やネットワークを生かして首都圏への進出にも力を入れ、売上高120億円、経常利益5億円の確保を当面の経営目標とします。加えて、2028年度までに、社員の平均月収を2023年度比で20%アップすることを実現します。



地元で、社会で、心豊かな生活のある
街づくりをめざしていきます

代表挨拶

～Greeting～

お客様が任せてよかったという会社で
あり続けたい

当社は、1925年の創業、1952年の設立以来、群馬県東毛地区を中心に、地域の皆様からの温かいご愛顧により発展してまいりました。

豊かな経験と技術でお客様に満足していただける仕事をする、確かな品質を提供することを心がけており、多くのお客様から永年にわたり厚い信頼をいただき、国や県、市から優良工事表彰を受けるなど高い評価を得ております。

今後も、生活環境や自然環境との調和など、より高度な社会の要請に応えるとともに、顧客満足を誠実に追求し、「地域のエクセレントカンパニーとして、地域に貢献し、なくてはならない会社であり続ける」「お客様が任せてよかったという会社であり続ける」を目標に、社員一丸となって努力を続けてまいります。



代表取締役
鈴木 義久

石橋建設工業が描くミライ

Future of Ishibashi

建設業界はこれからどのようなようになっていくのでしょうか。人に優しい街づくりを掲げて走り続けてきた石橋建設工業では、建設会社の未来と街に未来について、こんなことを考えています。現在の従業員はもちろん、将来従業員になってくださる方や、私たちと共に建設に携わっていただいている方々と一緒に、こんな未来の実現に一歩ずつ近づいていきたいと思えます。

■ サステナブル建築への対応

サステナブル建築とは、環境に配慮し、資源を効率的な使用したりエネルギーを節約したりしながら、住宅や建物の長期的な持続可能性を追求する建築手法や設計思想のことをいいます。石橋建設工業では環境優先の考え方に立ち、従来の建築に比べて環境への負担を最小限に抑えることをめざしていきます。

その取り組みの一端を紹介します。

● エネルギー効率の向上

断熱材を効果的に利用するほか、可能な限り再生可能エネルギーの利用を心がけ、省エネルギー設備などを整えていきます。

● 再生可能資源の利用

再生木材や再生ガラス、再生アルミニウムなどを積極的に活用します。



● 廃棄物の最小化

廃棄物の処理は法律に従うだけでなく、リサイクルや廃棄物の再利用を進め、できるだけ廃棄物を出さない工事を心がけます。

● 健康や快適性の追求

室内の空気品質を良好に保つ、自然光を最大限に利用する、適切な温度と湿度の維持などを通じて、住む人の健康と快適さを保証します。

● 地域コミュニティとの調和

地域の風土や景観に合った建物のデザインや、地域の資源を活用した建築手法などを採用します。

■ こんな建設会社でありたい

これからの建設会社には、社会環境における様々な課題を解決していくことが求められています。石橋建

設工業も、こうした課題に正面から向き合っています。

● 技術の進化へ対応

ICT化の加速を受け、建設業界にも機械化、デジタル化の波が押し寄せています。従業員が新しい技術に対応できる知識やスキルを身につけられるよう、トレーニングの機会を豊富に提供していきます。

● サプライチェーンの管理

サステナブル建築の取り組みとして、リサイクル可能な材料や、再生可能エネルギーを利用した製品を活用するように、サプライチェーンの見直しも検討しています。

● 価格競争力の強化

建設業界は競争が激しく、価格競争力を高めることは必須です。原材料費のコストはどこも同じですから、品質を犠牲にせず、業務内容を効率化する努力を続けていきます。



時代の変化を的確に読むチカラ

● 法規制への戦略的対応

建設会社は、国や地域の様々な規制の中で仕事をしなければなりません。コンプライアンス遵守は当然ですが、法規制の変化や更新に迅速に対応しながら、業界の動向や市場のニーズに即した経営戦略を立案していきます。

■ あるべき企業風土

サステナブルな社会の実現には、従業員全員が同じ想いを共有し、調和のとれた人間関係を維持していくことが大切です。石橋建設工業では、この点で先駆的な取り組みを行っていると自負しています。

● 風通しの良さ

どの従業員も自分のアイデアを提案することができますし、良いアイデアは、速やかに執行部の意思決定に反映されていきます。こうした風通しの良さが従業員のモチベーションを高めています。

● バランスの取れた労働環境の提供

ワークライフバランスはとても重要です。仕事とプライベートの両方を充実させるため、資格取得へのインセンティブとなる制度や、家族との時間を満喫できるような制度を整えており、生産性の向上と働くことへの満足度を高めています。

● 相談しやすい社内風土

社内が発生する大小様々な対立や衝突は、コミュニケーション不足が原因であることがほとんどです。



優しい上司、相談しやすい先輩の存在が、こうしたリスクを未然に防いでいます。

● 利益は従業員に還元

会社を動かすエンジンは従業員です。会社が発展していくためには、従業員が幸せであることは最低条件といえます。オーナー企業ではない石橋建設工業では、誰もが社長になれる可能性がありますし、利益も従業員に還元していきます。

■ 地域の人々との調和をめざして

石橋建設工業は、地域のコミュニティと積極的に協力し、地域のニーズや関心事を理解しようと努めています。たとえば、以下のような取り組みに力を入れています。

● 情報提供と透明性の確保

建築プロジェクトに関する情報を地域の人々に提

供することはもちろん、建設計画やスケジュール、影響評価など適切に伝えることで透明性を確保しています。

● 地域資源の活用

地域と共に発展してきた歴史を踏まえ、地元企業の資材や労働力を活用し、地域企業との連携を通じて、地域経済の持続的な発展に寄与していきます。

● 環境への配慮と景観保全

自然環境や景観への配慮を尊重します。設計や施工のどの段階であっても、地域の生態系や景観を損なうことがないよう万全の注意を払い、環境への影響を最小限にする取り組みを行っています。

● 地域社会への貢献

建設会社として地域社会に貢献し続けるには、会社自体が健全な経営状態でなければなりません。石橋建設工業では、従業員の中から経営者を生み出していくことで、創業以来続く地域社会への貢献という伝統を保っています。



事業内容

BUSINESS DETAILS

人の暮らしを考えた建物づくり
石橋建設工業の建物づくり

建築

ARCHITECTURE

技術 × 知恵 × 理想

||

理想的な建築物の創造

建築とは、人々が暮らす空間を形作ること。その空間は目的に応じて実に多様です。石橋建設工業の建築部門は、これまで依頼主のどのような要求にも応えられるよう努力を続けてきました。その結果、公共施設や学校・幼稚園・保育園などの教育施設、多種多様な店舗やオフィスビル、工場や倉庫、病院や福祉施設、さらには個人宅や集合住宅と、多岐にわたる建築経験を積み重ねています。依頼主と設計者の想いを共に実現すべく、機能的かつデザイン的にも美しく仕上げた建築物は、多くの優良工事表彰を受けています。



工程管理は現場でのコミュニケーションから

現場監督として、建築現場の安全管理、品質管理、原価管理、工程管理の主に4つの管理業務に携わっています。中でも工程管理にはかなり気を配ります。工事中は、資材調達の遅れや施主さんの要望変更など、様々なことに対応する必要があります。納期を守るには、職人さんたちに多少の無理をお願いしなければならない場合もあります。ですから、休憩時にはできるだけ職人さんたちの中に入り、コミュニケーションをとるように心がけています。だから出来上がると、それまでの苦勞をすべて忘れるほどの達成感が得られます。



建築工事部 課長代理
長谷川 統一

引き渡し後の維持管理まで含めた管理をめざす

施工会社としては、お客様の要望と設計事務所の意向、弊社の施工方針とのバランスを考えながら、お客様に満足していただける建物を期日までに納入するのは当たり前のことです。しかし、実は引き渡し後からのお客様との付き合いの方が重要だと思っています。不具合への対応も含めて誠実に対処することが、その後の新しい仕事につながってくるからです。デジタル全盛時代ですが、建築の仕事は人の手がなければ成り立ちません。そんな人間くさい仕事の魅力を、若い人たちといっしょに発信していきたいと考えています。



建築工事部 課長
新井 一路

数字相手の仕事だからこそ受注時には大きな喜び

積算部の仕事は、図面をもとに工事に必要なお金を算出することで、それで建築費用が決まります。提示金額がお客様の予算に合わないときは、設計事務所とも協力しながら、同じ機能で異なる素材や形状へと変更することもあります。図面に明示されていなくても工事の過程で必要な作業があり、見落としと弊社が赤字になってしまうため、現場感覚も必要です。ですから、何ヶ月もかかって見積もった金額で受注できたときの喜びも大きく、これからも、お客様に納得していただける金額を算出、提案する努力を続けていきます。



積算部 課長代理
笹井 直人



公共施設・学校・幼稚園・保育園



沢野行政センター | 群馬県 太田市



入谷地区センター | 東京都 台東区



上野中学校 | 東京都 台東区



太子保育園 | 群馬県 桐生市



東部消防署 | 群馬県 太田市



北の杜学園 | 群馬県 太田市



Little Villegge 世良田の杜 | 群馬県 太田市



しらぎく幼稚園 | 埼玉県 上尾市

public facility / school / kindergarden
nursery school

店舗



ケーズデンキ 宇都宮ベルモール店 | 栃木県 宇都宮市



ヨークマート 北本二ツ家店 | 埼玉県 北本市



GRAN KITCHEN ナリタヤ布佐店 | 千葉県 我孫子市



トヨタカローラ 群馬大泉店 | 群馬県 大泉町



ケーズデンキ 太田店 | 群馬県 太田市



ニトリ 太田店 | 群馬県 太田市



メガガイア 岩槻店 | 埼玉県 岩槻市



天然温泉湯舞音 龍ヶ崎店 | 茨城県 龍ヶ崎市

store

医療・福祉



ゆめの園初雁 | 埼玉県 川越市



三和会 特養山笑 | 群馬県 桐生市



グレイス広沢 | 群馬県 桐生市



島村京子クリニック | 群馬県 桐生市



Good day ASHIKAGA | 栃木県 足利市



特別養護老人ホーム毛里田 | 群馬県 太田市



ナーシングケア川内の杜 | 群馬県 桐生市



岡田内科・小児科 | 栃木県 足利市

medical facility / welfare facility

オフィスビル・集合住宅・個人住宅



足利銀行 太田支店 | 群馬県 太田市



株式会社 北関東支店 | 群馬県 太田市

office building / apartment / private residence



レオーネ王子飛鳥山 | 東京都 北区



NK様邸 | 埼玉県 さいたま市



M様邸 | 群馬県 太田市



PF浅草橋ビル | 東京都 台東区



穴戸ビル東館 | 埼玉県 三郷市



東駒形4丁目計画 | 東京都 墨田区

工場・倉庫



(株)シルバーライフ 第二関東工場 | 栃木県 足利市



日本通運(株) 館林危険物倉庫 | 群馬県 館林市



日新堂羽村情報センター | 東京都 羽村市



(株)ピーチ&ドリーム工場 | 埼玉県 さいたま市



水上印刷(株) るのパレット | 東京都 あきる野市



野村陸運(株) 北関東支店 | 群馬県 太田市



(株)大河リサイクルセンター | 群馬県 明和町



竹内産業(株) 工場 | 栃木県 足利市

factory / warehouse

工場・倉庫



大泉塗工(株) 事務所・倉庫 | 群馬県 千代田町



(株)ライフドリンクカンパニー 栃木工場 | 栃木県 足利市



MKK・トランスポート(株) 太田第二工場 | 群馬県 太田市



(株)三蔵倉庫 | 群馬県 大泉町



ニッコーシ(株) 工場 | 埼玉県 羽生市



(株)モダンブルー EC倉庫 | 群馬県 太田市



(株)スバル 本社TC試作部モデル棟 | 群馬県 太田市



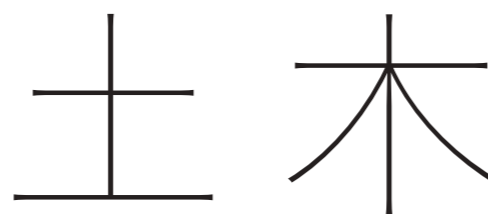
(株)ヨシダ 関東第一工場 | 埼玉県 加須市

factory / warehouse

事業内容

BUSINESS DETAILS

豊かな経験で磨かれた
インフラの匠たち



CIVIL ENGINEERING

自然 × 挑戦 × 技術

||

環境と調和した堅剛な創造

暮らしやすい街づくりには、その土台を支えるインフラストラクチャ（基盤施設）が欠かせません。石橋建設工業の土木部門は、こうしたインフラ整備の分野でも高い実績を築き上げてきました。防災につながるダム工事や護岸工事はもちろん、市街地の整備や道路の補修、下水道の整備など、人々の目に見えないところで、縁の下の力持ちとしての経験を豊富に持っています。堅固なのは当たり前、環境に溶け込みながらも美しい土木施設をつくる技術は、国や県、市などからも高く評価されています。



どんな小さな情報もチェックして応札につなげる

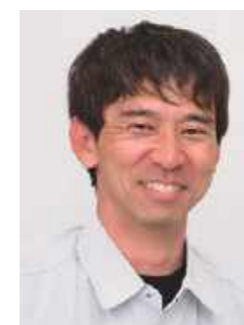
土木部門は、官公庁が発注する工事を請け負うことがほとんどですから、営業の仕事としては、まずは入札情報に敏感でいることが求められます。ただ公表される情報を待っているだけでなく、官公庁の窓口にも頻りに足を運ぶことで、より精度の高い情報を入手するよう心がけています。また、自治体の議会議事録などで都市計画の進捗状況などもチェックしながら、将来の発注に備えたりもしています。現在は地元の工事がメインになっていますが、今後は埼玉県や栃木県など近隣自治体にも幅を広げていきたいと考えています。



土木営業部 主任
坂倉 和樹

危険予知には念を入れ、住民の方にも誠実に対応

現場を預かる者として安全第一を心がけています。協力業者の職長さんと綿密に打ち合わせを行うなど、危険予知活動に力を入れています。とりわけ重機の配置やそのまわりの人の配置には目を光らせています。東京の現場は人通りや交通量も多いため、とくに気を使います。工事中はどうしても音が出るため、住民の方にご迷惑をおかけすることもあるのですが、ご意見にはできるだけ誠実に対応するようにしています。下水道など完成しても人目に触れることのない構造物もありますが、少しでも社会の役に立っている実感はあります。



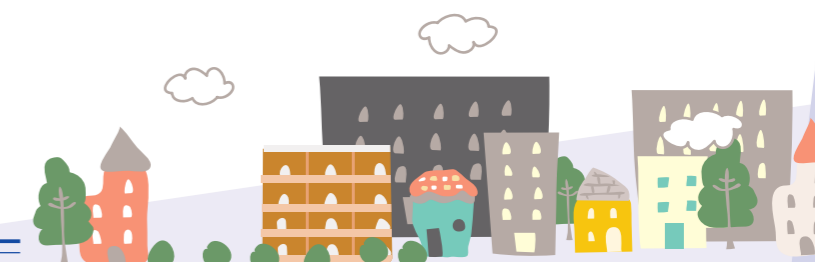
土木工事事務 係長
清水 淳之

長年の経験で最低入札価格を読み切る力を発揮！

官公庁の発中する土木工事では、応札後に予定入札価格が公表されることが多いのですが、どこまでその価格に近づけるかが積算部の腕の見せどころだと思っています。非公表の最低入札価格を1円でも上回るギリギリのラインを攻めるわけです。ただ積算の8割程度はソフトで自動計算できますし、使う資材はどの業者も同じなので、似たような価格になります。差をつけるには工事の手間をできるだけ効率化することが必要です。設計図や積算資料から設計者の意図を読み解き、手間を考えるのに長年の経験を生かしています。



積算部 課長
金 仁



ダム・護岸・防災



新宿新田地区築堤 | 埼玉県 春日部市



立馬沢流路工 | 群馬県 長野原町



安蘇沢三号砂防堰堤 | 栃木県 足尾町



越本第三床固 | 群馬県 片品村



松木川一号砂防堰堤 | 栃木県 足尾町



滝ノ沢砂防堰堤 | 群馬県 上野村



滝ノ沢砂防 | 群馬県 上野村



利根大堰耐震補強 | 群馬県 千代田町

Dams / seawalls / disaster prevention

道路・市街地整備



関越上里スマートIC | 埼玉県 本庄市



尾島・境高架橋下部 | 群馬県 太田市



新4号総和高架橋床板 | 茨城県 境町



中通り大橋上部工床板 | 群馬県 桐生市



盛土造成地線 | 群馬県 吾妻町



上武道路函渠 | 群馬県 前橋市



国道122BP道路維持 | 群馬県 太田市



太田西部幹線 | 群馬県 太田市

Roads / urban area maintenance

社員が 社長になれる 会社です。



目指すのは、建築と土木のプロフェッショナル。
あなたを成長させる場所が、ここに 있습니다。

建設業は、環境適応業です。刻々と変化する状況に対応できる柔軟性、創造力、判断力、実行力が重要になります。この力が、最終的にお客様からの「任せてよかった」につながります。

だからこそ私たちの仕事には、少々型破りでも元気の良い人、失敗を恐れず、自ら行動できる積極的な人が必要です。そして、そういう資質がある方なら、当社で必ず成長できます。当社が培った実績・技術をもとに、あなたを一人前に成長させます。当社の一員として、いっしょに成長できる方をお待ちしております。

石橋建設工業の部門紹介

建築部門

官公庁・教育施設・医療・福祉施設、オフィスビル、マンション、倉庫、工場、商業施設など幅広い分野で実績を積み重ね、一つひとつのプロジェクトに全力で取り組んでいます。お客様本位の誠心と現状に満足しない努力と徹底的な品質管理により、地域社会の豊かな未来づくりに貢献しています。



土木部門

道路、河川、橋梁、上下水道等の新設及び改築・補強工事などの公共工事から、工事や宅地の造成事業など、地域社会の「安心・安全」に直結する社会基盤整備を通じて、人々の暮らしや都市の発展に貢献しています。地域の将来を考え、暮らしやすい街づくりに誇りを持って取り組んでいます。



01 安定力 1925年創業。安定した経営基盤のもと、公共施設から医療施設まで幅広く対応。

当社は、1925年の創業、1952年の設立以来、群馬県東毛地区を中心に、土木・建築工事の設計施工を展開してきました。現在では、公共施設からオフィス、工場・倉庫、医療施設、ホテル、高速道路、ダムなど数多くの設計施工案件を手がけ、高い技術力と豊富な実績により、お客さまからの大きな信頼を築きあげるまでに成長しています。

さらに、北関東はもちろん関東一円に営業圏を拡大し、安定した受注を実現。また、豊富な土地資源を活用した賃貸事業も、当社の魅力のひとつです。



02 成長力 教育研修や資格取得支援も充実。若手でもやる気次第で成長できる。

教育研修については、入社後2週間は、社内研修（安全管理講習、ビデオ講習、測量講習、CAD講習など）、外部機関のビジネスマナー研修、複数の現場研修を経験し、知識やスキルを培うことができます。

また、技術力のバロメーターとも言える資格取得の支援も充実しています。資格の専門学校と連携し、費用も会社が全額負担。1級建築士については100万円の報奨金を支給しています。技術系社員の約8割が1級国家資格を保有しているのが当社の自慢で、若手社員に対しても無資格者ゼロを目指しています。



03 人間力 円滑な社内コミュニケーション。誰もが成長できる働きやすい環境。

当社の仕事は、何十年もの風雪に耐える大きな構造物を創造する“ものづくり”。優れたものづくりには、必ず人の温かいまなざしがこめられています。そんなまなざし的一端を担っているのが、当社のアットホームな社風です。本社、営業所、現場を問わず、社員同士で活発なコミュニケーションがかわされています。先輩から学ぶのは当たり前ですが、先輩も後輩からも学ぶ——そんな学び合いを通して、誰もが人間的に成長できる環境が整っています。分からないことがあれば、気軽に上司や先輩に相談してみてください。



社員インタビュー 仕事をする上でのやりがいは？

- ◆ 設計者、協力業者などたくさんの人と出会いながら、建物が完成したときの達成感にはかり知れません。(建築工事業部 笹島)
- ◆ 無事故・無災害で予定通り完成して、お客様からお褒めの言葉を頂いた時は、苦勞の多かった案件ほど達成感が大きくなります。(建築工事業部 後上)
- ◆ 何もなかった山林や田園地帯などに新たに道路を造り、近隣住人の生活が便利になるところにやりがいを感じます。(土木工事業部 住谷)
- ◆ 思い通りにいかないこともありますが、完成を迎え、住民の人が笑顔でその場所にいるだけで頑張った良かったと感じます。(土木工事業部 斎藤)
- ◆ 安全を最優先にした計画を立案し、常に動きのある現場と向き合い、計画通りに工事が完成したときにやりがいを感じます。(土木工事業部 清水)
- ◆ 現場条件や作業環境は様々ですが、それらの条件をクリアし、現場が無事完成したときの達成感にやりがいを感じます。(土木工事業部 富宇加)

石橋建設工業の活力を生む充実の「福利厚生」

資格取得支援

当社が建築と土木の両分野で、公共工事から民間工事まで幅広く手掛けることができるのは、技術力の高さを評価されているからにほかなりません。実際、技術のバロメーターと言える資格取得には、並々ならぬ力を注いでいます。資格取得に向けて専門学校と連携しているのもそのひとつ。費用を会社で全額負担することはもちろん、通学時間にも配慮しています。



1級建築士100万円！

建築士や施工管理技士など、業務に関する資格を取得した社員には毎月、資格手当を支給。1級建築士の資格を取得した社員には100万円の報奨金を支給しています。



勤続年数 旅行券！

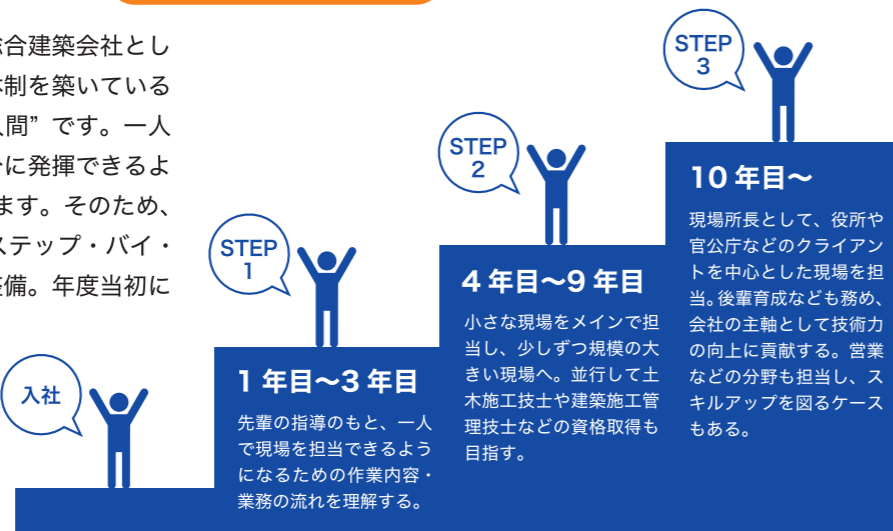
勤続年数により旅行券と特別休暇をプレゼントします。このプレゼントは社員にたいへん喜ばれています。

5年……	10万円	10年……	10万円
15年……	10万円	20年……	20万円
25年……	10万円	30年……	30万円
35年……	10万円	40年……	40万円
45年……	10万円	50年……	50万円



キャリアステップ

蓄積された技術と実績を基盤に、総合建築会社として企画から設計、施工までの一貫体制を築いている当社にとって、一番の原動力は“人間”です。一人ひとりの社員が持っている力を存分に発揮できるようになってこそ、会社の発展があります。そのため、意欲を持って入社してきた社員がステップ・バイ・ステップで成長できる教育体制を整備。年度当初に個人ごとに年間業務計画を設定し、部門長とともにキャリアアップや資格取得への方針を決定する体制なども整えています。こうした環境のもとで、社員が着実にレベルアップしていきます。



初任給	大学院卒 358,200円 大学卒 356,900円 短大、専門学校卒 325,700円 高校卒 322,200円	※固定残業として、20時間の固定残業代が含まれます ※固定残業時間の超過分は支給いたします (既卒者は最終学校種別に準ずる)
諸手当	<資格手当> 土木・建築の施工管理技士(1級 15,000円、2級 5,000円) 建築士(1級 20,000円、2級 7,000円) 建設業経理事務士(1級 8,000円、2級 3,000円) 宅地建物取引主任者(8,000円) <その他> 養育手当(扶養子女1名当たり 5,000円) 住宅手当(賃貸住宅につき 30,000円) 通勤手当(最大 12,000円) 東京支店勤務者(30,000円)	
昇給	年1回(7月)実績2~5%	
賞与	年2回(7月、12月)それぞれ約1.4ヶ月分	
決算報奨金	毎年度の業績により支給、実績、2017年支給総額1億円 / 2018年2億円 / 2019年1億5千万円 / 2020年1億円 / 2021年1億2千万円 / 2022年3千万円 / 2023年5千8百万円 / 2024年2億2千万円	
休日休暇	日曜、隔週土曜日、祝祭日、夏期、年末年始 ※会社制定の休日カレンダーによる 年間休日110日(休日105日+計画有給5日) 有給休暇(入社時:年10日、以降順次付加し、7年目で20日)	
待遇・福利厚生・社内制度	【法定福利】健康保険、厚生年金、厚生年金基金、雇用保険、労災保険、他完備 【退職金制度】確定拠出年金(401K) 【健康管理】健康診断、ストレスチェック、ヘルスケアサポート 【その他】新年会・親睦会の開催 【各種保険】医療保険:5年以上勤続者に会社負担で医療保険に加入(入院・通院日額8,000円、高度先進医療) 生命保険:全社員を対象に会社負担で死亡保険金1,000万円の生命保険に加入 がん保険:全社員を対象にがんと診断された時に50万円を給付するがん保険に加入	

「データで見る」石橋建設工業！

平均年齢

48歳

※全体約105名

経験のあるベテラン勢を中心としつつ、毎年3~6名の新卒学生を採用するなど若手の育成にも積極的に力を入れています。

初任給

356,900円

※大学卒、2024年4月実績
固定残業手当含む

東証プライム上場企業152社を対象として2024年初任給データでは、大学卒で239,000円が平均水準でした。

1級資格取得率

60%

※1級建築施工管理技士、1級建築士、1級土木施工管理技士

2級資格を含めると取得率70%となり、技術力の高い人材が揃っております。取得のためのサポートを積極的に行い、取得率の向上に努めています。

ミライを担う 人をつくる

Interview

少子化が進行していることで、日本は今、建設業界だけに限らずあらゆる業界が人手不足に悩んでいます。石橋建設工業も例外ではありません。しかし、ただ手をこまねているわけではありません。来るべきサステナブル社会を担う人材として、若手の育成に本気で取り組んでいます。もちろん若手だけでなく、一人前になってからもずっと働き続けることができるような仕組みも用意しています。そんな人づくりへの想いを取締役にご話いただきました。



Interview #01

取締役
営業本部長
天笠 英之



石橋建設工業の看板を守る 若い人材に期待しています

建築と土木では営業のスタイルがまったく違います。同じ人が両方を担当する企業もありますが、弊社では完全に営業部隊が分かれています。

建築営業では、従来の顧客からの紹介という形を取ることも多く、それはとりも直さず、誠実に仕事をしてきた証でもあります。信頼を崩すのは一瞬ですから、これまで積み上げてきた信用を失わないような営業を今後も続けていくことが肝心です。土木営業は入札に応じることがほとんどですが、ここでも同じように、信用と実績を生かした堅実な営業心がけたいと思っています。

ただし、近年は人手不足が深刻です。建築にしても土木にしても、やる気もあって技術もあるのに、そこに配置できる人がいないために受注を諦めるというケースが増えています。弊社はこれまで堅実を旨として、若い人に向けて派手なアピールはしてきませんでした。実際には、教育システムや先輩後輩の関係も含めて、若い人が活躍しやすい社内環境だと自負しています。この冊子が多くの若い人たちの目にとまることを祈っています。

Interview #02

取締役
土木本部長
富岡 将行



機械化やデジタル化などで 土木のイメージを変えています

弊社には土木と建築の2部門がありますが、建築を希望する人が多いのが実情です。土木関連の教育機関もかつてと比べると半減しており、若手の育成が急務だという認識を強く持っています。

若者を引きつけるには、イメージを変えていくことが大切だと考えています。土木は自然を相手に環境を作り変える仕事ですから、土や水との格闘は避けられません。しかし、最近では機械施工が発達しており、測量も一人でできる機器を導入するなど、土木のイメージもずいぶん変わってきました。機械化にはコストがかかりますが、機械を導入することで、省力化が可能になり、その分を手厚い人づくりに充てることができるのです。

土木は公共工事が中心です。都市化が進んだ現在では仕事の量は限られていますが、それでも時代に合わせて自然と調和しながらより良い生活環境を提供する土木工事がなくなることはありません。実際の土木の現場は、機械化とデジタル化のおかげで、かつてと比べると大きく様変わりしていますし、働きやすい現場になっているはずです。

Interview #03

取締役
建築本部長
須永 良浩



若いうちの資格取得を応援し 多様な人材の受け入れ体制を整えます

建築の世界で働くには資格が非常に重要です。建築士や建築施工管理技士といった資格を持っていないと、現場を監督することもできませんし、有資格者がいないと受注の段階ではじかれてしまうのが現実です。ですから、弊社としては若いうちにこうした資格を取得できるような様々な制度を整えています。具体的には、こうした資格に対応した専門学校に通いやすいような勤務体制にしたり、その費用を会社で負担したりしています。

また、共生社会に向けて、誰もが働きやすい環境づくりにも力を入れています。土木も含めて建設業界には男社会のイメージがありますが、最近では女性の進出も目立つようになってきました。しかし、女性が入ってくれば、更衣室や休憩室をはじめとして社内環境をきちんと整える必要がありますし、勤務体制を考え直す必要もあります。

弊社には中国や韓国にルーツを持つ社員もいますが、今後は海外出身の方が増えることも予想されます。女性や海外にルーツを持つ人も含めて、多様な人材を受け入れる体制を築いていきます。

Interview

ミライを拓く人になる

~チャレンジしやすい社内風土~

建築工事部 主任

王 徳辰 (2019年入社)



「建築の知識はゼロでも大丈夫、しっかり教えます」との面接の言葉を頼りに入社しました。入社当時はそれほど日本語が上手ではありませんでしたが、上司や先輩方がやさしくフォローしてくれ、現在では、現場監督を任せられるまでになりました。将来的には、中国語と英語を生かして、海外展開も考えていきたいと思っています。

建築工事部

川島 悠 (2023年入社)



機械学科出身ですが、未経験でも大丈夫とのことでした。現場事務所の中で先輩たちと2人とか3人になる時間が多く、時間に追われることなく自分のペースで勉強させてもらえるのが気に入っています。一人でできることは限られていますが、計算して発注したコンクリートの量がぴったりだったりすると気持ちいいですね。

営業本部 営業部

黒岩 功 (2023年入社)



営業に配属予定で入社し、工事部で半年働いた後、営業部に異動しました。まだ先輩たちからいろいろと教わっている最中で、雑工事の手配が精一杯ですが、最初からお客さんと関わって受注できたらうれしいだろうと想像しながら頑張っています。営業マンとしての知識やスキルを高め、後輩にも優しく教えたいと思っています。

土木工事部

長澤 直 (2018年入社)



良い意味で上下関係のない職場です。質問しやすい雰囲気にあふれており、そのおかげで成長させてもらったと感謝しています。年上ばかりの現場ですから気は使いますが、生来のコミュニケーション力でも乗り切っています。将来の夢は、ダムや橋のような大きな工事に携わり、「パパが作ったんだ」と子どもに自慢すること…かな。

土木工事部

新井 冬羽 (2023年入社)



石橋建設に勤めていた先輩から職場の雰囲気がいいと勧められ、面接時の印象も良かったため入社しました。どんな疑問点もやさしく教えてくれるのが気に入っています。土木工事は役所関係の書類作成が大変そうですが、早く一人前になり、難しい現場も安心して任せられる、会社にとって必要不可欠な存在になりたいと思います。

営業本部 積算部

新井 省吾 (2024年入社)



別の建設会社に新卒採用されましたが、石橋建設の人たちと接して好印象を持ったことがきっかけで転職しました。地元では大きな企業で福利厚生が充実しており、家族を持っても安心して長く働ける会社だと思います。働きやすい職場ですから女性も大歓迎。この業界に入って良かったと思われるような会社になりたいですね。

バリバリ仕事をして
下からも慕われる存在に
なりたい

先輩に相談しやすい職場
部下にもやさしく教えたい

突っかかってくるような
やる気のある後輩を
待ってます

会社にとって必要不可欠な
存在に早くなりたい

この業界の印象を
良くすることに貢献したい

将来は海外展開も
視野に入れています

輝く
若手社員!
私たちにお任せください!

石橋建設工業で活躍する若い人たち——。将来は、この会社を牽引していく人材として期待されています。どのような想いで入社を決意したのか、現在、どんな仕事をしているのかを、先輩たちとの関係も含めて語ってもらいました。合わせて、将来はどうなりたいのか、どんな後輩たちに入ってもらいたいのかについても聞きました。

創業

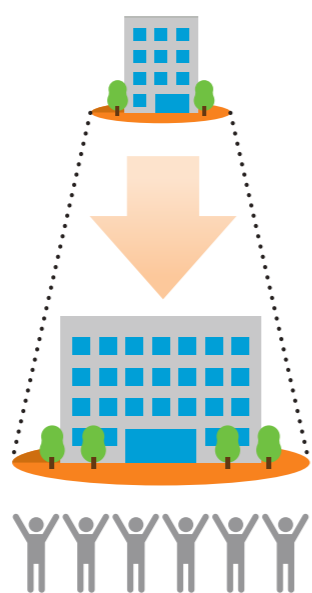
100周年

大正14年4月

新社屋完成

2022年

令和4年9月



設立

73年

昭和27年4月

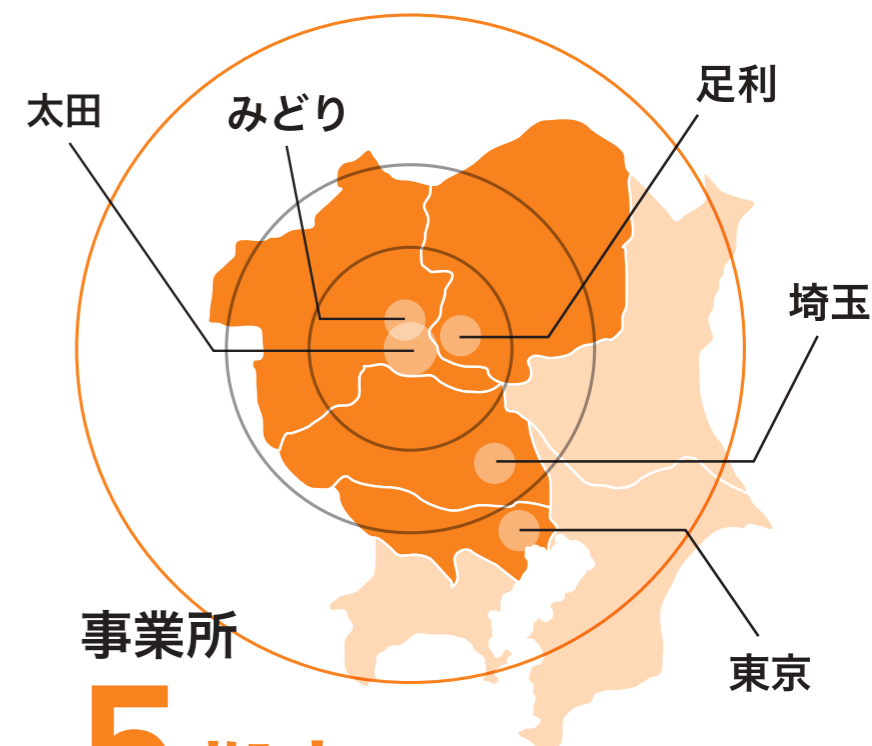
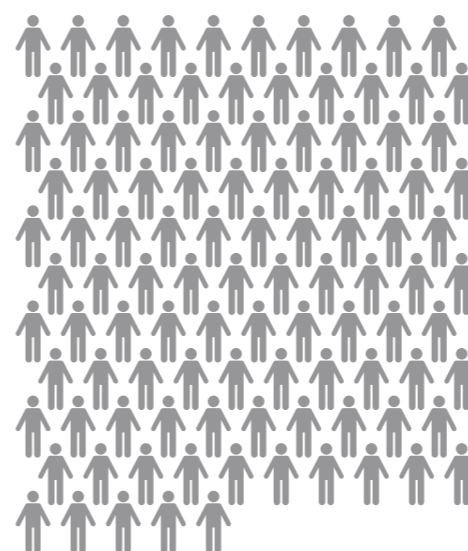
売上高

10年間平均

123億

従業員数

105名



事業所

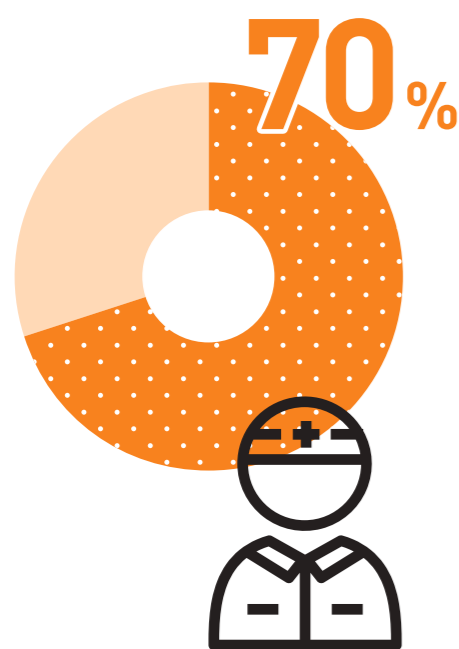
5拠点

時代の変化に敏感な石橋建設

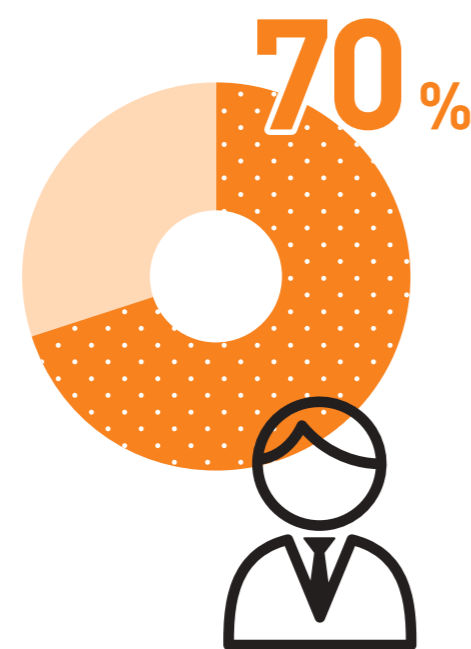
「データで見る」石橋建設工業!

産声から1世紀、現在の企業体となってから70有余年、総合建設業者として確固たる地位を築いてきたことは、これらの数字が証明しています。さらに実績を積み重ねるべく、未来志向で前進していきます。

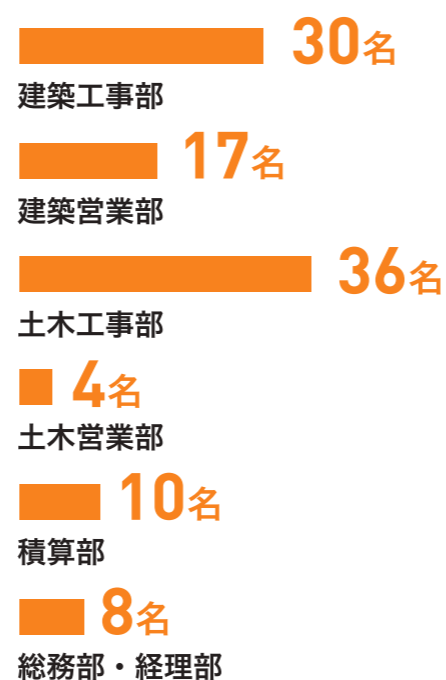
技術系社員の割合



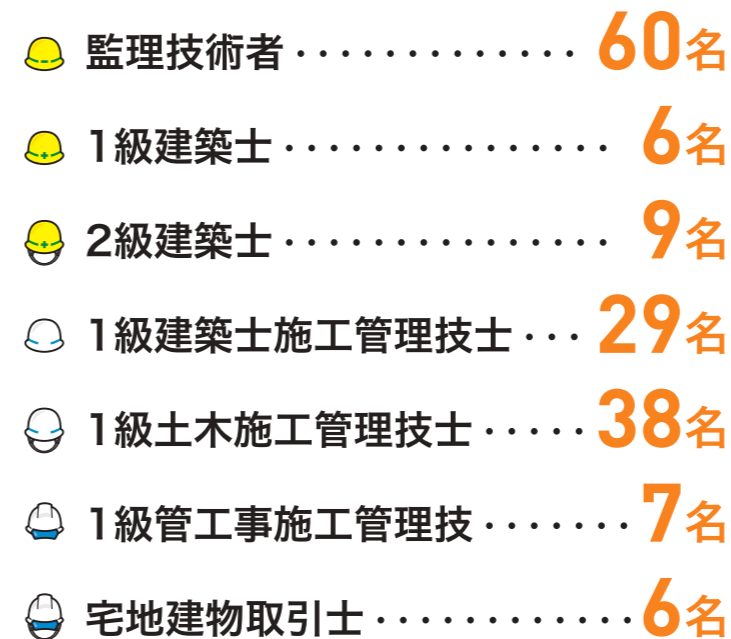
資格取得者の割合



職種別社員の割合



資格取得者数



年間休日

110日



有給休暇取得実績

15日/年



平均残業時間

18時間



技術と信頼で歩んだ一世紀 そして次の100年へ

■会社概要

代表者	代表取締役 鈴木義久
設立	昭和27年4月1日(創業 大正14年)
資本金	8,000万円
従業員	105名(令和6年7月現在)
決算期	6月30日
取引銀行	足利銀行・みずほ銀行・群馬銀行・アイオー信用金庫・足利小山信用金庫・桐生信用金庫

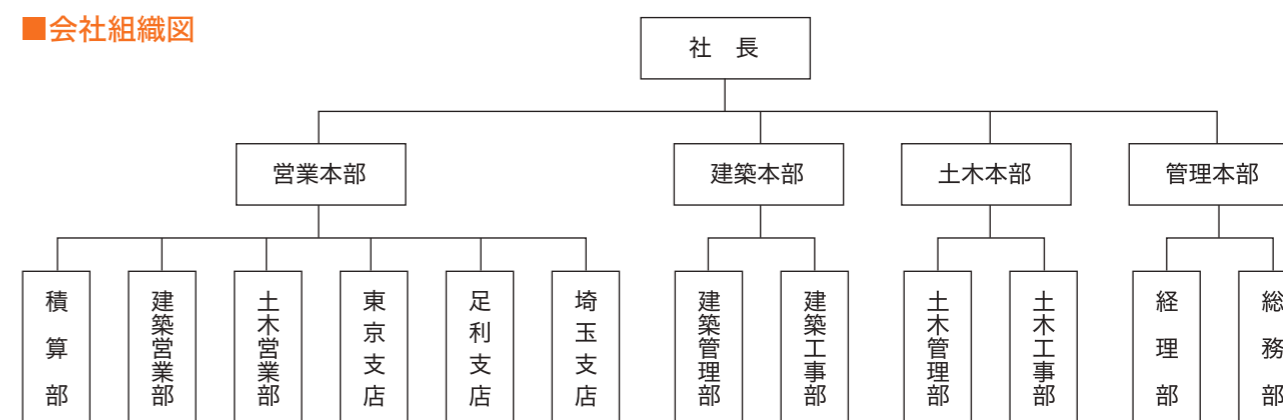
■登録

建設業	国土交通大臣許可(特-4)第2568号
1級建築士事務所	群馬県知事登録 第381号
宅建取引業	群馬県知事(16)第230号

■沿革

大正14年4月(1925年)	創業
昭和27年4月(1952年)	石橋産業株式会社設立 石材業及び石油製品販売
昭和34年9月(1959年)	総合建設業発足
昭和38年9月(1963年)	石橋建設工業株式会社に社名変更
昭和44年1月(1969年)	M&Aにより 建築部門強化 東京営業所開設
平成14年4月(2002年)	設立50周年
令和3年4月(2021年)	鈴木義久社長就任
令和4年9月(2022年)	新社屋完成
令和7年4月(2025年)	創業100周年

■会社組織図



■本支店案内

本社	〒373-8530 群馬県太田市東本町 53-53 TEL 0276-25-3535 / FAX 0276-22-7391
建築営業部	TEL 0276-25-3537 / FAX 0276-22-1290
建築工事部	TEL 0276-25-3536 / FAX 0276-22-8356
建築管理部	TEL 0276-25-3565 / FAX 0276-22-1290
土木営業部	TEL 0276-25-3531 / FAX 0276-22-1165
土木工事部	TEL 0276-25-3530 / FAX 0276-25-8356
土木管理部	TEL 0276-25-5053 / FAX 0276-22-1290
総務部	TEL 0276-25-3535 / FAX 0276-22-7391
東京支店	〒110-0015 東京都台東区東上野 2-5-11 第3田淵ビル4階 TEL 03-6803-2601 / FAX 03-6803-2731
足利支店	〒326-0826 栃木県足利市借宿町 1-1-20 TEL 0284-71-0185 / FAX 0284-71-9097
埼玉支店	〒362-0063 埼玉県上尾市小泉 1-17-4 TEL 048-726-7902 / FAX 048-726-7903
みどり支店	〒379-2311 群馬県みどり市笠懸町阿左美 581-2 TEL 0277-76-0160 / FAX 0277-76-3666
高崎支店	〒370-0833 群馬県高崎市新田町 4-2 セントラルヒルズ高崎 202 TEL 027-325-4418 / FAX 027-325-4419

■ホームページ

<http://www.ishibashi-const.co.jp/>



新社屋エントランス



新社屋オフィス



新社屋外観